

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		769,880	941,680	777,960				
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	513,229	627,759	518,619				
	一般財源	256,651	313,921	259,341				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	長崎県建設技術研究センター 一研修派遣職員数	年度内派遣職員数	人	目標	101	100	90
					実績	92	106	88
					目標達成率（％）	91.1%	106.0%	97.8%
	②				目標			
					実績			
					目標達成率（％）			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	(内容、程度等)
	<p>当該研修所へ職員を派遣することで、専門性の高い知識・スキルや最先端の政策情報を収集でき、県内技術者間でのネットワーク形成の場を確保することができる。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	目標90名に対して、積極的な受講を促したことにより88名の職員を派遣することができ、目標をほぼ達成できた。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	職員が専門的知識を習得することにより、業務の資質向上につながる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	研修を受講し、専門性の高い知識を習得することで、現状を分析・検証し、業務の質の向上や市民サービスの向上につなげる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	市民サービス（行政サービス）の向上に直接つながる事業ではなく、間接的な効果を求める事業であるが、当該事業の効果は高く、他に代わる研修機関もないことから、当該事業については継続（現状維持）する必要があると考えられる。				